

# ***Weathermaster Wide Screen Tarp***

〔ウェザーマスターワイドスクリーンタープ〕

## **取扱い・組立て説明書**



**この取扱い説明書は大切に保管してください。**

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。タープ・スクリーンタープ設置の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、タープ・スクリーンタープを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設置してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項



## 危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水濡れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

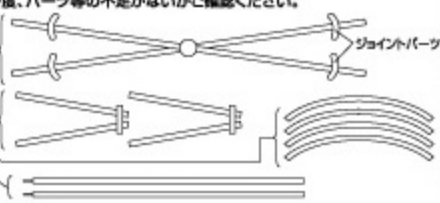
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態ですと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

## セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- スタンディングシート 1枚
- タープスキン 1張
- テントジョイントフラップ 1枚
- メインポール(アルミ合金、シルバー) 1組
- レグポール(アルミ合金、シルバー) 4組
- サイドポール(アルミ合金、シルバー) 4本
- キャンビーポール(スチール、シルバー) 2本
- 自在ロープ(グリーン) 11本
- 自在ロープ(ベージュ) 4本
- スチールピンベグ 33本
- ハンマー 1ヶ

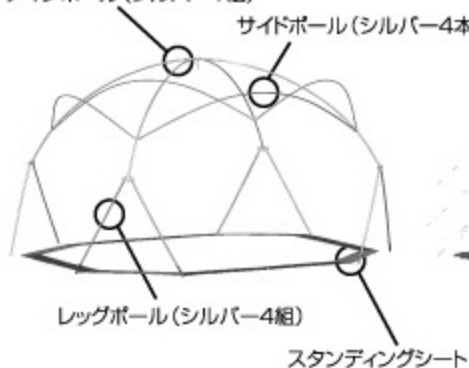


## 設置時

### 【シート装着前】

メインポール(シルバー1組)

サイドポール(シルバー4本)



### 【シート装着後】

タープスキン

自在ロープ3m

キャンビーポール  
(シルバー2本)



### 【バック側(標準)】



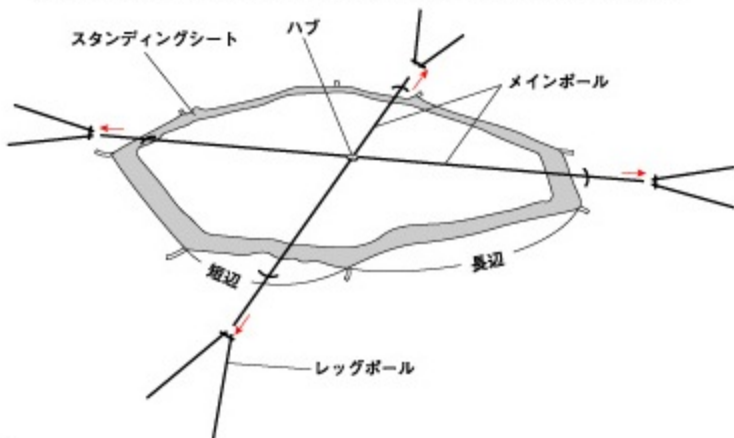
### 【バック側(テントジョイントフラップ装着時)】



# 設営手順

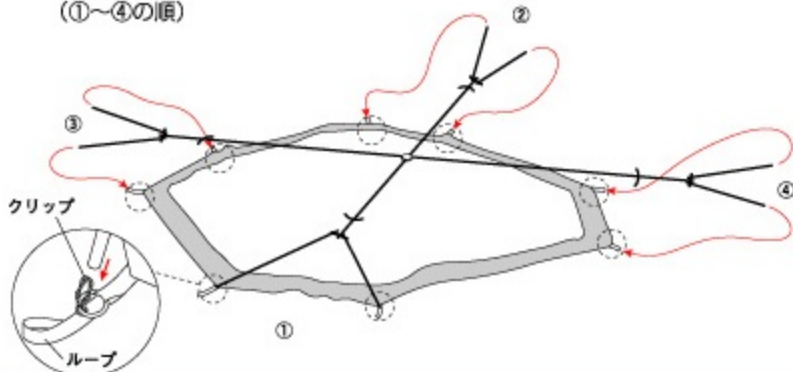
## STEP 1

スタンディングシートを八角形になるようにきれいに広げ、その短辺同士を結ぶようにしてメインポールを十字の形に置きます。この時、メインポール中心のハブを、赤色の紐が付属している側が下になるように置いてください。レッグポールはメインポールのそれぞれの先端に置きます。2本のメインポールの端にそれぞれ、レッグポールを4本差し込みます。



## STEP 2

レッグポールの先端を、スタンディングシートの面にセットされたエンドクリップ(2ヶ所)に差し込み、次に対角面の(2ヶ所)にも差し込みます。さらに、もう一方の対角面(4ヶ所)も同様に差し込むと、メインポールが立ち上がった状態になります。(①~④の順)

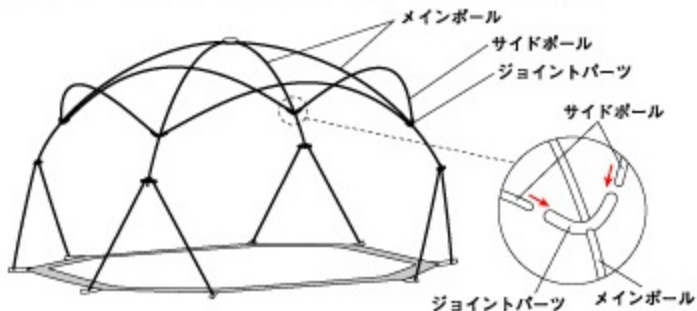


### 注意

ポールをクリップに差し込む際に、指をはさまないように気をつけてください。ポールを立ち上げる際は、ポールのはねかえりに注意してください。

### STEP 3

メインポールのジョイントパーツにサイドポール(4本)を取り付けます。



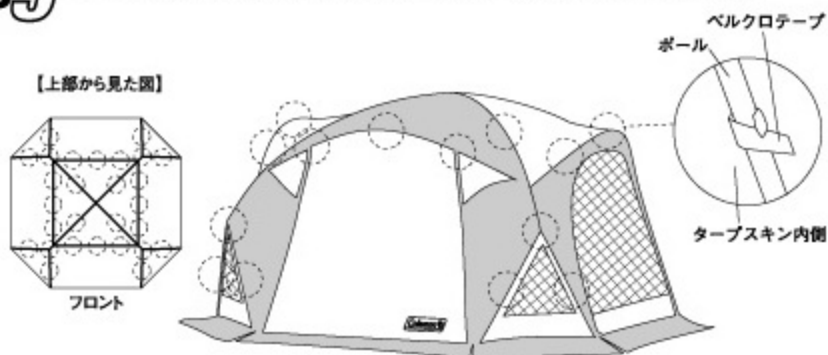
### STEP 4

タープスキンをかけます。ポール、スタンディングシートに前後・左右の区別はありません。次に、スタンディングシートの先端にタープスキンのフックをかけます。



### STEP 5

タープスキンを内側からベルクロテープでポールに固定します(28ヶ所)。



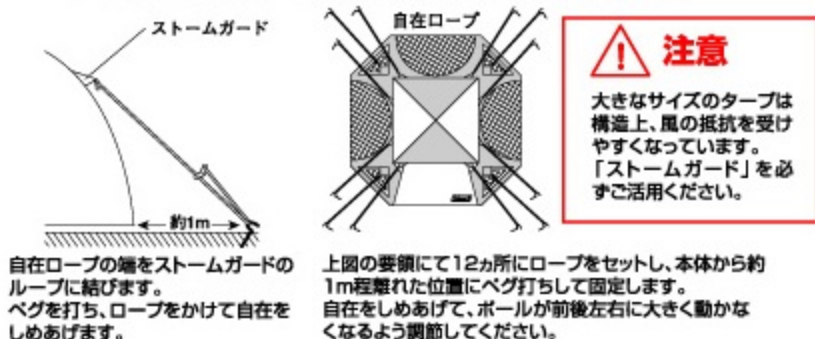
## STEP 6

設営位置を決め、図のようにスタンディングシートの角の部分8ヶ所を風上より順に(A~H)対角線にベグ打ちしてタープを固定したあと、中央部分(8ヶ所)もベグで固定します。



## STEP 7

ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ベグで固定する方法)により、スクリーンタープの安定性を高めます。両側面及び各コーナーのストームガードに付属のロープを結び、図のようにベグで固定します。



## STEP 8

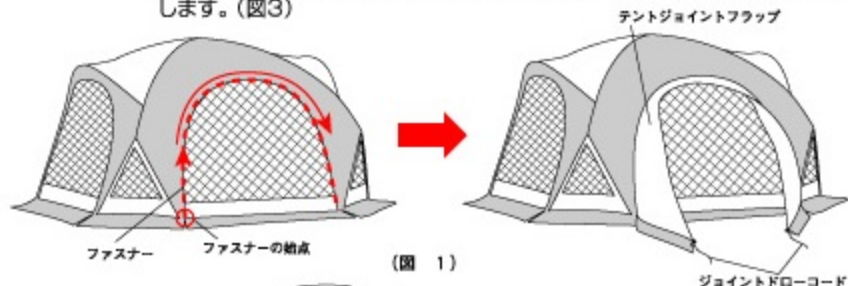
前室をキャンピーとして活用する場合は、キャンピー用ポールを使用します。雨天時に前室をキャンピーとして活用する場合は、図のようにグロメットにロープを結び、ベグ止めて雨水を流してください。



## STEP 9

本製品は、ウェザーマスターシリーズのテントとジョイントすることが可能です。その際は、タープ設置後に以下の手順でジョイントします。

1. タープに付属のテントジョイントフラップを背面にファスナーで取り付けます。(図1)
2. ジョイントするテント側のキャノピー又は前室のフライを巻き上げます。(図2)
3. テントをタープの中に移動し、位置を決め、1で取付けたテントジョイントフラップをテントにかぶせます。
4. テントジョイントフラップ内部に通っているジョイントドロークコードをしめ込み、密着させます。この時にテントジョイントフラップがなるべくたるみのないようにします。(図3)



(図 1)



(図 2)

キャノピー付テントとジョイントする場合は、テント側のキャノピーは上に巻き上げておく(※サイドフラップは除く)



(図 3)

※フラップをかぶせてテントとジョイントする仕組みです。完全に雨・風・虫等の侵入を防ぐことはできません。

※本製品とテントをジョイントしない場合、不要なジョイントフラップはファスナーで取りはずしておきます。

### ⚠ 注意

テントジョイントフラップがなるべくたるみのないようにテント位置を決めてください。たるみ、又はへこみなどがあると雨が溜りやすくなります。

# 撤収手順

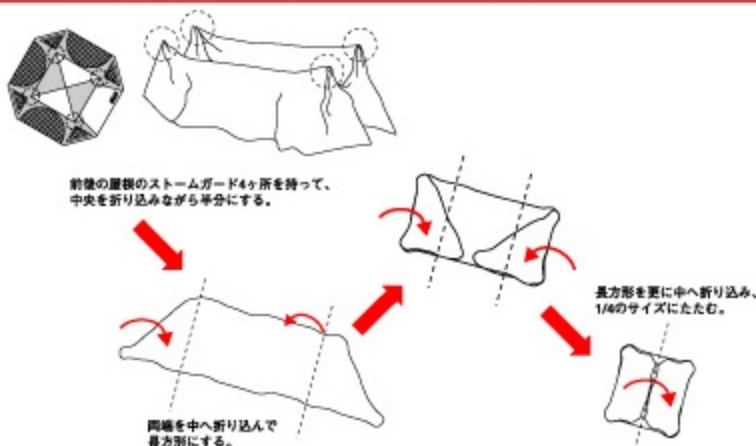
## STEP 1

タープを固定したベグ、ポールをすべて外して、下図のようにたたみます。



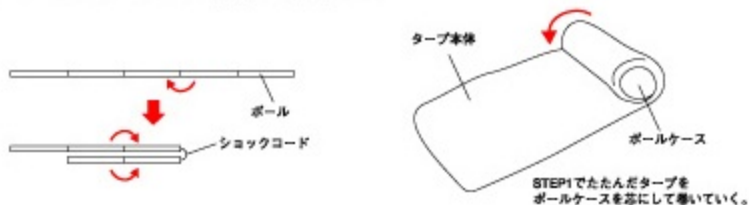
**注意**

テント・タープ生地を濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント（タープの場合スキン）の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



## STEP 2

ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、本体を下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



**注意**

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード（ゴム）全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせフリーコール

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30